

第 10 回伊那谷 FM 放送番組審議委員会

【日時】令和 8 年 3 月 18 日（水）午前 11 時～11 時 30 分

【場所】伊那市 伊那ケーブルテレビジョン株式会社 会議室

【出席者】委員総数 5 名

出席委員数 5 名

出席委員の氏名 池田 輝夫 委員長

北原 章裕 委員

小池 喜志子 委員

酒井 高太郎 委員

鈴木 清次 委員

【放送事業者側出席者名】 伊那ケーブルテレビジョン 向山 賢悟 代表取締役
伊藤 秀男 常務取締役
平山 直子 取締役放送部長
稲田 久人 放送課長

【審議会次第】

- ・ 開会
- ・ 社長あいさつ
- ・ 池田委員長あいさつ
- ・ 協議事項
 - （1）今年度 FM 放送の取り組みの説明
 - （2）伊那谷 FM 全般について質問、要望など
 - （3）その他
- ・ 閉会

向山社長 挨拶

本日は、伊那ケーブルテレビのコミュニティチャンネル「いなテレ 12」および、コミュニティ FM「伊那谷 FM」の番組審議委員会にご出席いただき、感謝を申し上げます。

また、日頃より当社の放送事業運営につき、各委員の皆様には多方面からご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は「いなテレ 12」と「伊那谷 FM」という二つの地域メディアを通じ、地域に密着した情報発信に取り組んでいる。

日々のニュース、行政情報、地域行事の紹介、防災・災害時の情報提供など、地域の暮らしに寄り添う媒体として、その役割を果たしているものと考えている。

近年、情報環境は大きく変化し、多様なメディアが存在する時代となった。

そのような状況においても、地域の細やかな情報や、人と人とのつながりを大切にした発信は、地域メディアならではの重要な使命であると認識している。

今後も地域の声に真摯に耳を傾け、親しまれる番組づくりに努めていく。

池田委員長 挨拶

伊那谷昼ワイドのゲスト出演者も 390 人を達成し浸透してきている。

FM がますます浸透するように、ご意見を伺いながら進めてまいりたい。

<今年度 FM 放送の取り組み>

平山部長

まず、目玉として取り組んでいるのは「伊那谷昼ワイド 867」。

平日毎日異なるゲストに出演をいただいている。

ニュース、天気、交通情報のほか市町村の行政情報、保育園、学校の給食情報、イベント情報を聴く「テレラジ」などを放送している。

スポンサーから電話で話を聴く「トクラジ」ではニシザワ様・サンスイ様に提供いただいている。

その他、伊那ケーブルテレビの番組の放送、AI アナウンサーによるニュースや行政放送、音楽番組を制作し放送している。

伊那谷 FM を聴くためのアプリ「Radimo」のダウンロード数が 2025 年 1 月現在で 2,267 件だったものが今年 2 月末で 5,080 件ということで倍増している。

増えている要因として、伊那谷昼ワイドのゲストが出演時に家族や友人にアプリをダウンロードするよう促してくれているものと思われる。

来年度の取り組みとして、今年度と基本同様の番組編成を行う。

スポンサー確保に力を入れていく。

パーソナリティが進行する番組や地元ミュージシャンが出演する音楽番組を制作する予定。テレビ・ラジオが連動した災害対応マニュアルの制作や防災訓練への参加による放送訓練も考えている。

災害時に周波数を合わせてもらえるよう、引き続き親しまれる身近な FM 局として認知度を上げる取り組みを進める。

池田委員長

AI アナウンサーはどのように放送しているのか

平山部長

AI アナウンサーに原稿を読ませるアプリがあり、そこに文章を入力している。

火災など緊急時には自動的に割り込んで AI アナウンサーが緊急情報を放送している。

酒井委員

FM が地域に浸透していると感じている。

広報番組の取材で民泊を紹介したときに撮影していた伊那ケーブルテレビのスタッフが民泊の経営者に「FM に出ただけませんか」と声をかけていた。

その翌週には FM に出演されていて、ありがたいと感じた。

ほかに伊那市議会でも議員から「FM を活用して行政情報を発信してはどうか」という意見があった。

鈴木委員

エフエムとよたの「コウセイラジオ」の話もあったが、広域で番組制作ができればよいと思う。伊那谷屋ワイドのゲストにより口コミで広がっていることも考えると、リスナーを巻き込めば、もっと広がっていくと思う。

小池委員

災害に関して FM を活用しているという番組をテレビで見た。

伊那谷 FM を始めてから職員の増員はあったか。

平山部長

増員いただいた。

小池委員

令和8年度の取り組みで防災訓練や災害対応は積極的でいいと思うが、職員体制が整わないと厳しいのではないかと思う。

FMが浸透していくには年月もかかるし、地道な活動が大事かと思う。

北原委員

アプリ、Radimoのダウンロードも増えているということで努力の賜物であり、情報発信の媒体として認識されつつあると思う。行政情報を発信する際に活用させてもらいたい。

池田委員長

テレビ番組もそうだが、裏側で資料集めなどの下準備があると思う。スタッフはテレビと掛け持ちで大変だろうと思うので全社的な検討をお願いしたい。

小池委員

行政情報が流れているが、申し込みとか問い合わせが伊那ケーブルテレビにくることはあるのか。

平山部長

FMに限らず多岐にわたる問い合わせが来る。

向山社長

伊那谷FMの看板番組である伊那谷昼ワイドに力を入れていて、重要なのは平日毎日生放送していること。

毎日放送する積み重ねがあるからこそ地域の皆さんの安心感や信頼感に繋がっていると思うが、人員を含めた会社としてのバックアップを考えていかなければならないと思っている。

広域的な連携も検討していきたい。

災害の時にいかに聴いてもらうかということも大事だが、動ける人員がいなければ何もできないということもあり、そういうことも含めて経営課題の一つとして捉えている。

平山部長

審議委員の皆さまにお詫びをさせていただく。

重大事故には該当しないが、不体裁ということで空中波が流れないという事故が発生した。

3月14日の土曜日から流れていなかったことが16日月曜日に分かった。
冗長化している機器の両方が同時に故障したもの。
レディモでは流れていたが送信上の故障のため空中波が40時間ほど流れず、緊急時のものが流れ続けていた。

池田委員長

ケーブルテレビの番組審議委員会とFMの番組審議委員会ができてから携わってきたが今日を持って退任させていただく。

以上

【審議機関の答申又は意見の概要の公表】

公表の方法

- ・伊那エフエムが行う放送
- ・事務所への備置き
- ・自社ホームページ <https://fm867.jp/>への掲載

公表内容

- ・上記議事録内容

公表年月日

- ・2026年4月3日